

学生による情報センターサービス向上のための啓蒙活動

角谷充彦（中京大学学術情報システム部）

岩田庄平（中京大学法学部3年・中京大学学術情報システム部TA）

1. 中京大学～基本情報～

- ・建学の精神：「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」
- ・学生数(学部生)：12,660名 2017年5月現在
- ・学部数：11学部（文系学部が主）
- ・所在地：愛知県名古屋市、豊田市（2キャンパス）

2. 現状～この企画の経緯～

中京大学情報センターでは、中京大生が在学中に無料で使えるOffice365や、中京大学公式のメールサービスなど学生たちがPC環境を快適にするためのサービスを提供している

これらを周知するためにマニュアル作成および配布を実施している

3. 問題～サービスを利用しない学生がいる～

入学時、新入学生には大量の書類が配布される。

- ・学生生活に直結する情報が優先
→例.履修登録に関する情報
- ・有益な情報なのに優先度が劣る
→たくさんの情報があり、情報センターのサービスが埋もれてしまう
例：Office365の在学中無料情報

⇒知らないから利用しない



4. 課題～いかに知ってもらおうか～

サービスを知らない学生「0（ゼロ）」にするにはどうしたらよいか

5. 解決案～知ってもらう工夫をする～

（場所）情報センターに来てもらう「きっかけ」を作る

- ・興味を引くポスター作成する
- ・ポスターにハガキサイズの縮小版を取り付け自由に持ち帰れるようにする
→情報センターへの誘導

（ツール）紙マニュアルを電子化しスマホで閲覧可能に

- ・テーマ毎に電子マニュアルを作成。学生は必要に応じて興味のある箇所を閲覧
→QRコードを記載し、スマートフォンで見ることができるようにした



【旧マニュアル】



【A.ポスター】

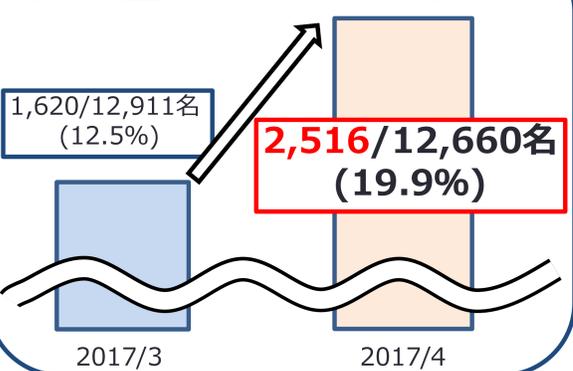


【B.レシピメモ風マニュアル】

6. 結果～レシピ風マニュアルが大好評！～

Office365 旧マニュアル → レシピ風マニュアル・ポスターの効果

【大学全体の利用数推移】



【大学全体の利用数】

2年間で1,620名だった利用率が...

1か月で
約1,000名up!

【新入生の利用数】

929/3,044名

(30.5%)

新入生の3割が利用!

7. さらなる課題～次への改善活動～

- ①Office365の普及率は伸びたものの、まだ知らない学生も存在する → 導入済みの人は取り入れない
今回の結果より新入生をターゲットに普及活動を行うことが効果的であることが明らかになった。新入生に更なる普及活動を実施したい
- ②Office365以外の情報センターサービスも普及させるよう取り組みたい

活動にあたり

インストールされる前に伝える

パソコン
購入前

サービスごとの
ターゲット明確化

時期

情報センターの特色を出す

ゆるキャラ チュー太くんの活用

TA主体の企画
(川柳コンテスト)

告知のさらなる工夫

